

「さぬきの夢2000」栽培

みかんのまちで麦づくり

～ 県営中山間地域総合整備事業 詫間・仁尾地区 南草木ほ場整備 ～



三豊市は、県西部に位置し県下でも有数の農業地帯である。なかでも、仁尾町は、みかん・びわなどの果樹、マーガレット・ヒマワリ・カーネーションなどの花卉の栽培が盛んであるが、農村の現状は他地域と同様に農業従事者の減少や高齢化、後継者不足が課題となっている。また、本地域は地形勾配が急な中山間地域ということもあり、生産基盤の整備が遅れており狭小で生産性の低い農地が多数を占めていた。

こうした背景を受け、平成十六年度より県営中山間地域総合整備事業「詫間・仁尾地区」として、ほ場・農道・水路の整備、ため池改修等、各種の農業生産基盤の強化に取り組んできた。

南草木ほ場整備は、平成十八年度から平成二十一年度にかけて十・六haの農地や道水路、パイプラインを整備した。作付け作物や品種等については、J A、農業改良普及センターの指導、助言をもとに計画中であるが、徐々に土づくりから始め、本格始動しているほ地もみられる。

なかでも、特筆されるのが、平成二十一年、仁尾町で初めて「さぬきの夢2000」（小麦）が担い手農家により約一ha作付けされたことである。初年度ということもあり、反当り収量は、満足できるものではなかったが、今後も土壌改良を重ね作付け面積を増やしていく意向である。

栽培農家によると、これまで地域の水事情により、コシヒカリの裏作として小麦の栽培は難しかったが、パイプライン整備により取水時期がある程度自由になったことから、小麦の栽培に踏み切る要因となった模様である。

最後に、ほ場整備後、中核農家への農地の集積が促進され、生産規模の拡大が図られた効果があげられると同時に、事業を進めていくなかで地域農業の将来について、地域で話し合いの場が確立できたことが将来大きな地域効果として現れるのではないかと考えられている。

（香川県西讃土地改良事務所）

